紀美野町第1回定例会会議録

平成26年3月11日（火曜日）

○議事日程（第3号）

平成26年3月11日（火）午前9時00分開議

- 第1 議案第73号 紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- 第2 議案第74号 工事請負契約の変更について
(平成25年度町営住宅福井第3団地新築(第2期)工事)
- 第3 議案第75号 平成25年度紀美野町一般会計補正予算(第6号)について
- 第4 議案第58号 平成25年度紀美野町一般会計補正予算(第5号)について
- 第5 議案第59号 平成25年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について
- 第6 議案第60号 平成25年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- 第7 議案第61号 平成25年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について
- 第8 議案第62号 平成25年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について
- 第9 議案第50号 紀美野町過疎地域自立促進計画の変更について
- 第10 議案第51号 辺地総合整備計画の変更について
-

○会議に付した事件

日程第1から日程第10まで

○議員定数 14名

○出席議員

議席番号 氏 名

1番 七良裕 光 君

2番 町 田 富枝子 君

3番 田代哲郎君
4番 加納国孝君
5番 北道勝彦君
6番 向井中洋二君
7番 上北よしえ君
8番 伊都堅仁君
9番 仲尾元雄君
10番 松尾紘紀君
11番 上柏皖亮君
12番 美野勝男君
13番 美濃良和君
14番 小椋孝一君

○欠席議員

なし

○説明のため出席したもの

職名	氏名
町長	寺本光嘉君
副町長	小川裕康君
教育長	橋戸常年君
消防長	家本宏君
総務課長	井上章君
企画管財課長	増谷守哉君
住民課長	牛居秀行君
税務課長	中谷嘉夫君
保健福祉課長	山本倉造君
産業課長	大窪茂男君
建設課長	山本広幸君

総務学事課長兼 中尾隆司君
教育次長
生涯学習課長 岩田貞二君
会計管理者 西切博充君
水道課長 温井秀行君
美里支所長 西敏明君
地籍調査課長 尾花延弥君
国体推進課長 南秀秋君
代表監査委員 向江信夫君

○欠席したもの

なし

○出席事務局職員

事務局長 大東淳悟君
書記 中谷典代君

開 議

○議長（小椋孝一君） それでは、規定の定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

（午前 9時32分）

○議長（小椋孝一君） なお、執行部より議案第73号から議案第75号の提出があり、本日、本会議開会前の議会運営委員会で協議いただき、日程につけ加えていますので報告し、御了承をお願いします。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 議案第73号 紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第1、議案第73号、紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について、議題とします。

説明をお願いします。

消防長、家本君。

（消防長 家本 宏君 登壇）

○消防長（家本 宏君） それでは、議案書の1ページをごらんください。

議案第73号、紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について。

紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を次のとおり改正したいので、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求める。

平成26年3月11日提出 紀美野町長 寺本光嘉

提案理由。

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴い、紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の改正を行うものである。

次の2ページをごらんください。

紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例。

紀美野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例（平成18年条例第148号）の一部を次のように改正する。

ということで、別表を次のように改めるといってございまして、新旧対照表のほ

うで、詳細に関しましては御確認をお願いしたいと思います。

簡単に御説明を申し上げます。

消防団を中核とした地域防災力の充実・強化を図り、住民の安全の確保に資することを目的として、議員立法による消防団を中核とした地域防災力の充実・強化に関する法律が成立し、昨年公布・施行されたところであります。

この法律におきまして、団員の処遇改善のため、活動の実態に応じた適切な報酬・手当の支給について、国及び地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務づけられました。これに伴い、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令が改正されたため、条例の一部改正を行うものでございます。

なお、附則についてであります。この条例は平成26年4月1日から施行し、改正後の規定は同日以後に退職した非常勤消防団員について適用し、同日前に退職した非常勤消防団員については、なお従前の例によるとさせていただきます。

以上、説明とさせていただきます。

(消防長 家本 宏君 降壇)

◎日程第2 議案第74号 工事請負契約の変更について(平成25年度町営住宅福井第3団地新築(第2期)工事)

○議長(小椋孝一君) 日程第2、議案第74号、工事請負契約の変更について(平成25年度町営住宅福井第3団地新築(第2期)工事)を議題とします。

説明を願います。

企画管財課長、増谷君。

(企画管財課長 増谷守哉君 登壇)

○企画管財課長(増谷守哉君) それでは、議案書の15ページをごらんいただきたいと思っております。

議案第74号、工事請負契約の変更について。

平成25年度町営住宅福井第3団地新築(第2期)工事について、次のとおり工事請負契約を変更したいので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めます。

平成26年3月11日提出 紀美野町長 寺本光嘉

変更内容につきましては、契約金額の変更でございます。

変更前の契約金額につきましては、5,804万2,845円。

変更後につきましては、6,045万4,080円でございます。

当工事請負契約は、7日の議案の可決をいただいた町営住宅福井第3団地新築（第2期）工事の変更に伴うものでございます。

当工事の工期につきましては、国の交付金事業の事務手続上、平成25年3月下旬としてございましたが、26年度へ繰り越し、事業を進めていくこととしてございます。

このため、当初契約では消費税率が5%であったものが繰り越しを行い、26年度にかかるということで、消費税法の改正に伴うところの8%になるということで、増額となるものでございます。

また、外構工事につきまして、第1期工事で擁壁基礎部の地耐力の見直しを行いました。この工事につきましても、すぐ近くの隣接地となつてございます。第2期工事においても、この基礎の部分の地耐力の見直しを行うことにより、擁壁工において増額となるものでございます。

以上、議案第74号の説明とさせていただきます。

（企画管財課長 増谷守哉君 降壇）

◎日程第3 議案第75号 平成25年度紀美野町一般会計補正予算（第6号）について

○議長（小椋孝一君） 日程第3、議案第75号、平成25年度紀美野町一般会計補正予算（第6号）について、議題とします。

説明を願います。

総務課長、井上君。

（総務課長 井上 章君 登壇）

○総務課長（井上 章君） 追加議案書の4ページをお願いいたします。

議案第75号、平成25年度紀美野町一般会計補正予算（第6号）。

平成25年度紀美野町の一般会計補正予算（第6号）次に定めるところによる。

（繰越明許費の補正）

第1条 繰越明許費の追加は、「第1表 繰越明許費補正」による。

平成26年3月11日提出 紀美野町長 寺本光嘉

5ページをお願いします。

第1表 繰越明許費補正ということで、繰越明許費の追加でございます。

7款土木費、3項住宅費で、議案第74号で説明のあった町営住宅福井第3団地新築の第2期事業の繰り越しでございます。

事業費としては3,968万円の事業費となっております。

以上、簡単ですが、説明とさせていただきます。

(総務課長 井上 章君 降壇)

◎日程第4 議案第58号 平成25年度紀美野町一般会計補正予算(第5号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第4、議案第58号、平成25年度紀美野町一般会計補正予算(第5号)について、議題とします。

これから質疑を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 平成25年度一般会計補正予算(第5号)について、質疑をいたします。

まず、128ページ、歳入、18款、繰入金、1目、財政調整基金繰入金、1節、同じく財政調整基金繰入金です。財政調整基金繰入金2億1,908万4,000円が計上されています。繰り入れ後の基金の残高は幾らになるのかお願いいたします。

129ページ、20款の諸収入です。4項、雑入、1目、雑入、1節、雑入で、差押債権受入金2,530万8,000円計上されています。説明のときに、若干説明があったんですが、もう少し詳しく説明をお願いいたします。

それから、歳出に移ります。

130ページ、2款、総務費、1項、総務管理費、1目、一般管理費で、13節、委託料、訴訟委託料として630万円が計上です。弁護士の報酬だと思うんですけど、これについても説明をお願いいたします。

それから、132ページ、5款、農林水産業費、1項、農業費、3目、農業振興費で、19節、負担金補助及び交付金で、経営体育成支援事業交付金として33万円の計上です。事業内容のちょっと詳しい説明をお願いできればと思います。

それから、132から133にかけて、7款、土木費、2項、道路橋りょう費、2目、道路橋りょう新設改良費で、13節、委託料、町道いちご谷1号線測量設計委託料、これが224万円の減額補正です。それから、15節、工事請負費、町道いちご谷1号改良工事、こちらは1,000万円の減額補正となっております。この減額補正の理由について説明をお願いいたします。

それから、133ページに移ります。

8款、消防費、1項、消防費、1目、常備消防費で、19節の負担金補助及び交付金で消防救急無線デジタル化負担金2,144万7,000円の減額補正です。それから、高機能指令システム等共同整備事業負担金も1,077万円の減額補正となっています。この事業については、一旦計上したものが減額補正したり、また補正したりということで、何か迷走状態のような感じを受けるんですが、今回の減額補正の理由について、説明できる範囲で、把握しておられる範囲で結構ですので、説明をお願いいたします。

9款に移ります。134ページです。

9款、教育費、4項、社会教育費、9目、文化センター管理運営費です。1節、報酬で、非常勤職員報酬120万円の減額補正です。この減額補正の理由を御説明をお願いいたします。

同じく134ページで、11款、公債費、1項、公債費、1目、元金、23節、償還金利子及び割引料、長期償還金で長期債の元金2億2,229万7,000円の計上です。繰上償還ということだと思いますが、償還後の公債費の残高をお願いいたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、井上君。

(総務課長 井上 章君 登壇)

○総務課長 (井上 章君) 田代議員御質疑の128ページの財政調整基金の平成25年度末現在高の見込みでございますが、9億2,627万3,000円でございます。

それから、129ページ、差押債権の受け入れということで2,530万8,000円の説明でございます。預金のほうで差し押さえをしておりました預貯金分で段木氏分が1,255万5,949円、それから田下氏分が558万9,989円、それから段木氏が持っておりました、そういう現金というんですかね、696万2,130円、それからパーティー券というんですか、その返金で20万円と、これの合計がこの2,530万8,000円内訳でございます。

それから130ページの訴訟費用の、弁護士の費用でございます。この弁護士費用につきましては、その弁護士の報酬基準というのが、旧でございますが、ございまして、それは現在有効ではないんですが、この基準というのが、その旧の基準しかございませんので、それをもとに計算をしますと、かなり大きな金額になってまいります。しかし、先生との交渉の中で、一応、650万円ぐらいというようなところの話がありまして、

再度50万円をちょっと値引きをお願い申し上げまして、最終的に630万円と、こういう形でお願いをするという形になりました。長期にわたる裁判ということで。

後ほど、また元金につきましては、再度答弁申し上げます。

(総務課長 井上 章君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 産業課長、大窪君。

(産業課長 大窪茂雄君 登壇)

○産業課長 (大窪茂男君) 田代議員の質疑にお答えいたします。

132ページの5款、1項、3目、農業振興費、19節、負担金補助及び交付金の33万円の事業内容ですけれども、地域の中心経営体等が融資を受けて農業用機械を導入した場合の経費を支援する事業でございまして、東野地区で経営体が農機具を融資を受けて購入するものでございます。

国の事業で10分の3の補助で33万円ということでございます。

以上、説明とさせていただきます。

(産業課長 大窪茂雄君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 建設課長、山本君。

(建設課長 山本広幸君 登壇)

○建設課長 (山本広幸君) 132ページの7款、土木費の中の町道いちご谷1号線の減額でございます。この路線につきましては、下佐々地区の防災避難所に指定されている紀美野町中央児童館への新しい国道370号バイパス線からの進入道路として本年度当初予算でも認めていただいたわけでございますが、測量設計に際しまして、一部の地権者のほうからどうしても理解が得られなかったことがございます。

さまざまな交渉に努めましたが、最終的にどうしても理解が得られなかったということで、今回やむなく予算の減額補正をお願いするものでございます。

いちご谷線の測量委託、それから次のページの工事費につきましても、同じ理由でございます。

以上でございます。

(建設課長 山本広幸君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 消防長、家本君。

(消防長 家本 宏君 登壇)

○消防長 (家本 宏君) それでは、田代議員の御質疑であります議案書133ペ

一ジの8款、消防費、1項、消防費、1目、常備消防費、19節、負担金補助及び交付金の消防救急無線デジタル化負担金及び高機能指令システム等共同整備事業負担金の減額補正について、わかる範囲でということで御説明をさせていただきます。

まず、消防救急無線デジタル化負担金の減額でございますが、平成25年6月議会で平成25年度に整備可能である全事業費の62%ということで、6,257万8,000円の予算を計上させていただきました。せんだって入札をした結果、当町の負担額が4,113万1,000円となったことから、差額の2,144万7,000円の減額補正をさせていただきます。

次に、高機能指令システム等共同整備事業負担金、これの減額でございますが、これに関しましては、昨年9月議会で平成25年度に整備可能だということで、全事業費の36%に当たります6,868万2,000円の予算措置をさせていただきましたが、入札をした結果、25年度の当町の負担額が5,791万2,000円となったことから、差額の1,077万円の減額補正ということでございます。

以上です。

(消防長 家本 宏君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 生涯学習課長、岩田君。

(生涯学習課長 岩田貞二君 登壇)

○生涯学習課長 (岩田貞二君) それでは、134ページ、9款、4項、9目、文化センター管理運営費の1節、報酬の120万円の減額であります。文化センターの事務執行のために、当初センター長を配置して、事務執行を行う予定でありましたが、25年度に入りまして、文化センターを充実するということで、職員を配置したことによる報償費の減額でございます。

以上、説明とさせていただきます。

(生涯学習課長 岩田貞二君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、井上君。

(総務課長 井上 章君 登壇)

○総務課長 (井上 章君) 田代議員の質疑で失礼しました。

最終の公債残高でございます。平成25年度末で101億9,563万8,000円でございます。

以上でございます。

(総務課長 井上 章君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 3番、田代哲郎君。

○3番 (田代哲郎君) 129ページの雑収入の中の差押債権受入金なんですが、いろいろとパーティー券などの返金まで、こちらで差し押さえてきたと、たしか1億7,000万ほどだったと思うんですけど、それで2,500万というのは、いかにも。この後というか、以後の見通しというのは、ほとんどもう返してもらえない見通しがないのかどうか、その辺のことをお願いします。

それから、弁護士委託料なんですけど、旧基準で支払ってもらうとかなりな額になるので、交渉して、弁護士のほうから提示された額を、普通の言葉で言えば、値切って、支払って、これだけで妥協したんだと。そしたら、旧基準で計算した場合には、どの程度の額になるはずだったのか、その辺のことをお願いします。

それから、132ページの農業費、農業振興費の経営体育成支援事業交付金という、その中心経営体という考え方というか、一般にそれはどういう経営、多分この金額だったら、トラクター程度のものだろうと思うんですけど、中心経営体という基準というのがあるのかどうか、その辺のことをお願いいたします。

それから、土木費の中の道路橋りょう費で、いちご谷1号線改良工事の件ですけど、今後というのは、もうそれ、地権者の理解を得られないということですけども、避難所への道ということもあって、非常に大事なことだろうと思うんですけど、その辺の見通しとしてはどうなのかをお願いします。

それから、130ページの教育費で、文化センター管理運営費なんですけど、センター長を非常勤で置く予定だったけども、いわゆる生涯学習課から出向してますよね、職員が出向したので、その必要がなくなったということなのか、センター長を置く予定が、それができなかったんで出向したんだということなのか、その辺のことをお願いします。

あと、公債費残高、これだけ返しても、まだ100億を切るというのは難しいのかなという感じですけど、その辺の見通しとしては、どうなのでしょう。

以上です。

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、井上君。

○総務課長 (井上 章君) 田代議員再質疑の1点目の裁判における債権の回収の今後の見通しということでございます。土地、あるいは家屋の差し押さえもございまして、それが今後、強制執行等、弁護士等と相談しながら、回収に今努めてまいりたいと、

そのように考えております。

それから、弁護士基準で、旧の弁護士の報酬基準の金額でございます。税込みで1,048万9,500円という計算を一応しております。旧基準で計算すると、そういう額になると、こういうことでございます。

それから、起債残額ということで、今後の見通しということでございます。

これにつきましては、できるだけ減らしていくという方針のもとで、繰上償還等々も行いながら、利率の高いものを返していって、後年の利息等を少なくすると、こういう方針でやっておりますが、また借り入れ等もございまして、今後、大きな事業等もありますので、なかなか100億ぐらいのところを行ったり来たりというのが今の見通しとなっております。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 産業課長、大窪君。

○産業課長（大窪茂男君） 田代議員の再質疑にお答えいたします。

農業中心経営体ということですが、将来的にその地域の農業を担う人または認定農業者等で、土地を借り受けまたは受託作業をして、規模拡大をする意欲ある農業者ということでございます。今回は、田植機、110万円の農業機械ですが、これに対する10分の3の補助ということでございます。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 建設課長、山本君。

○建設課長（山本広幸君） 田代議員の再質疑でございます。132ページの土木費の減額でございます。本年度の予算としては、断念をするんでございますが、この道路につきましては、避難所への進入道路ということでございますので、今後においても、地権者の理解が得られれば、また新しい道路の設置に向けて実施したいと思っております。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 生涯学習課長、岩田君。

○生涯学習課長（岩田貞二君） 田代議員の2回目の質疑にお答えしたいと思います。

まず、当初では、センター長1名、臨時職員2名の3名体制の予定でありました。その後、職員1名が行くことになりまして、臨時職員1名と、2名体制で文化センターの

事務を行うことになっておりますので、そうした配置がえによって減額、センター長の費用が必要でなくなったということで、臨時職員の費用は出ますということの内容でございます。

○議長（小椋孝一君） 3番、田代哲郎君。

○3番（田代哲郎君） 1点だけお願いします。歳出で総務費の中の弁護士訴訟委託料ですが、この対応する訴訟というのはどれとどれなのか、630万円の訴訟内容というんですか、だけなんか、全てなんか。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前10時09分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前10時10分）

○議長（小椋孝一君） 総務課長、井上君。

○総務課長（井上 章君） 田代議員の再々質疑でございます。どの裁判に対応する費用かということで、歳計外裁判の費用ということでございます。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） ほかに、質疑ありませんか。

13番、美濃良和君。

（13番 美濃良和君 登壇）

○13番（美濃良和君） それでは、127ページの一番上にあります総務費負担金の地上デジタル放送難視聴対策事業加入金ということで、今やっているとところのギャップフィルターのほうへの加入金だと思いますが、174万、1人3万ですから、ちょっと大きな数字かなと思いますが、どういうふうなところの方が加入されたのか、お聞かせ願いたいと思います。

それから、130ページ、歳出のところ、総務費の総務管理費、財産管理で樹木枝払委託料ですか、8万2,000円、これについてお聞かせ願いたいと思います。

それから、134ページの教育費の社会教育費の中の社会教育総務費です。職員手当が10万円、超勤がふえたということになるかと思いますが、どうしてこの超勤がふえ

たのか、お聞かせいただきたいと思います。

以上、よろしく申し上げます。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、井上君。

(総務課長 井上 章君 登壇)

○総務課長 (井上 章君) 美濃議員御質疑の127ページの地上デジタル放送の加入金174万円でございます。この174万円につきましては、皆さん方から3万円ずつ、ずっと加入をいただいていたところでございます。しかしながら、まだいただいていない方ということの中で、こちらのほうで調査をいたしまして、その方々に催告書を25年に送付をしております。忘れておったり、あるいはまたこういうことを知らなかったよという方もおられまして、そんな中で60件の方々が納めていただいたということでございます。そういうことで、なかなかその調査というのは難しゅうございましたけれども、とりあえず、お叱りもたくさん受けたわけでございますけれども、納めていただいたのが、そういうところでございます。

以上でございます。

(総務課長 井上 章君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、増谷君。

(企画管財課長 増谷守哉君 登壇)

○企画管財課長 (増谷守哉君) 歳出の2款、総務費、1項、総務管理費、4目の財産管理費のうち、委託料、樹木枝払委託料、8万2,000円でございます。これにつきましては、町内の吉見地区に町有地がございます、そこが山林の地目ということで、現在、クヌギとか、ハゼとかという木が生えてるんですが、隣接地に民家がございます、枝が非常に張り出して、屋根に当たって瓦を壊してしまうとか、そういうふうな状況になってるということと、隣地、ミカンの木がございます、農作物の育成が非常に悪い、影になるということで、これにつきましては、非常に迷惑をかけてるということで、町のほうで、10メートルぐらいのクヌギなんですが、影になっている木を、枝を払うということで、実施したいと考えてございます。

以上、説明とさせていただきます。

(企画管財課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 生涯学習課長、岩田君。

(生涯学習課長 岩田貞二君 登壇)

○生涯学習課長(岩田貞二君) 美濃議員の質疑であります。134ページ、9款、4項、1目、社会教育総務費の時間外手当、10万円の増でございます。

これにつきましては、社会教育自体は、あらゆるジュニア駅伝から始まり、講演会等々の事業が総務費で扱っております。その中で、予定を上回っているというのは、ジュニア駅伝の練習活動が多く行っております。また、講演等でも、夜間等の残業がふえております。そういう意味で、この10万円が不足してきたということで御理解賜りたいと思います。

(生涯学習課長 岩田貞二君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 13番、美濃良和君。

○13番(美濃良和君) 歳入で、地上デジタルでまだ払っていただけてなかった方々、60件にということで、まだそのうち2件ほど残ってる勘定になると思うんですが、60件ですから、180万ですよ、こういう細かいこと言うて申しわけないんですけど。

それと、そのほかにはそういうような方々はおられないのか。それから、こっちに住んでない別荘の方々もおったりして、非常に担当もしんどいと思うんですが、その辺はどうですか、聞いときたいと思います。

それから、社会教育の134ページのところで、ジュニア駅伝とか、いろんな講演があったりして、職員が予定よりもたくさん残業があったということで、説明あったと思うんですけども、今後、いろんな形で文化活動を進めていく上でも、また体育の関係でも、紀美野町というのは、この間、いろいろと活動もされてきているということで、これについては、今後はどういうふうに見込んでいくのか、予算の上で。来年度また質問したらいいんですけども、その辺のところはどういうふうにされているのか聞いときたいと思います。

○議長(小椋孝一君) 総務課長、井上君。

○総務課長(井上 章君) 美濃議員の再質疑の、催告書を送付して、まだ支払っていただけない方ということの対応でございます。この名簿でございますので、家にいないというんですかね、現実にも、家にいない方であるとか、あるいはまた施設に入所されてる方々もあろうかと思っております。再度、きちっとまた調査をして、また催告書を送付するというような、そういうことで、しっかりとまたもう一回調査してからというこ

とでよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 生涯学習課長、岩田君。

○生涯学習課長（岩田貞二君） 今後の活動等は、25年度並みの講演活動とか、体育活動とかいうことをやっていきたいとは思っております。残業につきましては、できるだけなくしていくような形、また代休をとるような形を進めていきたいと思ひますので、御理解賜りたいと思ひます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

1番、七良浴 光君。

（1番 七良浴 光君 登壇）

○1番（七良浴 光君） 1点、お伺ひしたいと思ひます。131ページの3款、民生費、2項、児童福祉費、1目、児童福祉総務費の委託料、7万2,000円で、広域保育委託料という説明がございますが、この広域保育という事業の内容についてお聞かせ願ひたいと思ひます。

（1番 七良浴 光君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 保健福祉課長、山本君。

（保健福祉課長 山本倉造君 登壇）

○保健福祉課長（山本倉造君） 131ページの児童福祉総務費の委託料、7万2,000円、広域保育委託料についてでございます。

保育というのはそれぞれの子供の住所地の保育所で、市町村が保育することになるんですが、何らかの都合で、よその市町村に保育を委託する場合、例えば、今回の場合でしたら、転入してきたんですが、もうあと少しで卒園ということになってまして、それまでの間は旧の保育所でいたいという保護者の希望がありまして、この場合は、海南市なんですが、海南市もそれを了解して、紀美野町も委託をお願いしたという場合に、委託料として支払うということになっています。

以上です。

（保健福祉課長 山本倉造君 降壇）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第58号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これから議案第58号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時24分)

再 開

○議長(小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時40分)

◎日程第5 議案第59号 平成25年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第4号) について

◎日程第6 議案第60号 平成25年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第
2号) について

○議長(小椋孝一君) 日程第5、議案第59号、平成25年度紀美野町国民健康
保険事業特別会計補正予算(第4号)について及び日程第6、議案第60号、平成25
年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について、一括議題とします。

これから質疑を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) ページ143で、歳出で総務管理費の次に、いわゆる保険
給付費がそれぞれ計上されています。一般被保険者療養諸費、それから退職被保険者療
養諸費ということ、それから高額療養費、そこまでが保険給付費ですが、先日の、いわ

ゆる運営協議会の際に、協議会に参加された議員の広域代表として参加した人に関しては、大体その辺のことは、明らかにされているんですが、議会の場で質疑いたします。

今年度、平成25年度の保険給付費の推移の状況はどういう傾向なのか、お願いいたします。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 住民課長、牛居君。

(住民課長 牛居秀行君 登壇)

○住民課長 (牛居秀行君) 田代議員の御質疑にお答えを申し上げます。143ページでございます。

保険給付費全般にわたっての動向でございますけれども、結論的に申し上げまして、多少の前後はございますけれども、横ばい状態というふうな状況でございます。一つ、例を挙げてみますと、一般被保険者におけます療養給付費、これが一番大きいわけでございますが、この動向につきましては、平成23年度が8億3,530万8,077円でございます。平成24年度につきましては、8億755万7,612円、少し減ってございますけれども、全体予算からしますと、横ばいと見ていいのではないかと考えてございます。

本年度、25年度の予想額でございますけれども、8億2,850万円ということでございますので、医療費につきましては、多少の前後はございますけれども、療養給付費につきましては、横ばいと考えていただいて差し支えないものと考えてございます。

以上でございます。

(住民課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 3番、田代哲郎君。

○3番 (田代哲郎君) これは、先日の運営協議会でも、いわゆる保険者が、被保険者数が減っているのに、医療費が横ばい状態で推移するというので、診療側から、その要因は一体何なんですかという発言がありまして、診療側としては、毎度毎度、同じ、毎年被保険者が減っているのに医療費は下がらないということを聞かされるので、その要因について、それがどういう要因がそういうことになるのかという指摘というか、明らかにしてほしいというような発言がありました。やはり推移する要因について、プライバシーに触れる部分もあるんですが、どんな疾患が基本的に多いのかとか、そうしたことについての、ある程度はやっぱり要因を把握しておく必要があるのではないかと

いうふうに思いますが、その点のことについて、どうなのでしょう、お願いします。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、牛居君。

○住民課長（牛居秀行君） 田代議員の再質疑にお答えを申し上げます。

まず、被保険者数が右肩下がりで減っている、これは事実でございます。減っております。

ただ、医療費につきましては、なかなか減っていきません。多少の前後はございますけれども、年間で2,000万円とか1,000万円ぐらいの前後でありまして、全体予算から考えますと、決して減っているというふうな状況ではない、横ばいというふうな状況でございます。

その要因につきましては、幾つかあるかと思えます。まず、いつも申し上げておりますけれども、やはり一番大きい理由といたしましては、医療の高度化ということがございます。被保険者数が減りましても、医療の高度化によりまして、診療報酬等が高くなるということがまず1点ございます。

もう一つは、紀美野町におきます国民健康保険の被保険者の構成というんですかね、年齢構成につきましては、60歳から74歳までの方が58%ほどございます。この60歳から74歳までの方々の加入者率というのが年々1%、約1%でございますけれども、ふえてきてございます。平成23年度、24年度、25年度を見ても、約1%ずつふえております。現在は、58%、58.4%だったと思えます。58%ぐらいの率になっております、これが大きい理由でございます。といいますのは、国保連合会の調査でもあるわけなんです、年齢が60歳を上回ってくると、急に1人当たりの医療費が上がってくるというふうな状況がございまして、この年齢層を多く抱えておる保険者にとりましては、やはり1人当たりの医療費が上がる要因になってこようかと考えてございます。

それから、国保運営協議会でも議論になったわけでありまして、高額療養費については、どうなんだというお尋ねがございました。そのときは、ちょっとお答えできなかったんですけれども、それ以後、調べてみますと、高額療養費につきましては、県下で6位というふうな形になってございまして、これにつきましても、医療費を上げている一つの要因でなかろうかなと考えておるところでございます。

それから、分析といいましょうか、どういう疾患が多いんだというふうなお尋ねもあったかと思えますけれども、一応、入院外につきましては、循環器系及び呼吸器系とい

うんですかね、そういう疾病が多うございます。これは、紀美野町だけではなく、県下全域に言えることなんです、入院外ではそういうふうな疾病が多いと。入院につきましては、精神・行動というんですか、私詳しいことわからないんですけども、分類的には精神・行動という、そういう疾病の部類があるようございまして、それが紀美野町では多いというふうな状況になってございます。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 3番、田代哲郎君。

○3番（田代哲郎君） 疫学的な視点から疾病の検証というんですか、どういう病気が多いかという、先日、ある課長とお話ししたら、彼いわく、この町は、いわゆる悪性新生物、がんに罹患している人が多くないかという話が出まして、そういった疾病の、例えば考えてみれば、個人的な、プライベートなことですけど、私が住んでる近くでもがんで亡くなる人が、かなり私が移ってからだけでも、わかるだけで3人ほど、近所で亡くなっている。これは、これですと発表されてないのでかわからないんですけど、家の人の話とかを聞くと、そういう話が出てきて、友人とか知人、こういう人にも、かなり罹患率が高いというふうに。ただ、数字として、医学的に分類していないのでわからないんですけど、ただ、かつてある厚生病院のドクターですけど、この自治体はがんで亡くなる人が多いとかという話もされていたこともあります。だから、そういう面で、詳しく調査するというのは難しいと思うんですが、先ほどの精神障害が、入院が多いという、それも言われてみればそうかなという気もするんですけど、それも、納得というか、わかるというあれではないんで。

○議長（小椋孝一君） 田代議員、もう少しマイクのほうに近づいて、聞こえにくいです。

○3番（田代哲郎君） その辺のことも含めて、やっぱりそういう調査が可能な限り、ただ、高額医療費の問題なんかは、ちょっともう、あんまり、どんな高額医療費が多いとかいうことで明らかにすると、また個人情報の問題もかかってくるんで、難しいと思うんですけど、そういう分析というのも、ある程度やったほうがいいんじゃないかという気がしますので、その辺のことをお願いします。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、牛居君。

○住民課長（牛居秀行君） 田代議員の再々質疑にお答えを申し上げます。

ちょっと古い資料にはなりますけれども、紀美野町でも、入院では精神・行動という

のが1位でございまして、次に、議員のおっしゃる新生物というんですか、がんのことを言うらしいんですが、新生物というのが入院では2番目になってございます。3番目につきましては、損傷、4番目が循環器系、これは入院でありますけれども、入院外につきましては、先ほど申しましたように、循環器系がやはり1番でございまして、次に、内分泌・栄養ですか、ちょっと私専門的なことはわかりませんが、そういった疾病になっております。議員、もっと疾病内容を捉まえて、疾病の予防に当たるほうがいいんじゃないかというふうな御指摘でございまして。これにつきましては、国保連合会のほうで、平成26年度から国保のデータベースということで、コンピューターで分析をして、これは全国で始まる制度なんですけど、データベースということで、連合会のほうでまとめて、一人一人のデータを集めて、例えば紀美野町では、こういう疾病が多いよ、こういう保健指導したらどうだろうかというふうな、そういうふうな御指導をいただけるような体制を今組みつつございます。私どもも、それに参加をする予定でございまして、今年度補正予算でも上げさせていただいておりますけれども、国保のデータベースのシステム改修ということで、この予算にも上げさせていただいております。

そういったことがかなって来ますと、今よりも、より詳細な疾病に対する分析ができて、また保健指導なりに生かせるものと考えてございます。

現時点におきましては、残念ながら、まだそこまで我々も専門的な知識もございませんし、レセプト等を見てみましても、きちっとした、この医療がどうだとか、この疾病についてはどうだというふうな指導ができない状況でございまして、今後、今申し上げました連合会にもお力をいただいて、そのデータベースというものをフルに活用しながら、そういった疾病予防に当たってまいりたいと考えてございますので、御理解を賜りたいと存じます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

13番、美濃良和君。

（13番 美濃良和君 登壇）

○13番（美濃良和君） 少しお聞きしたいと思います。143ページに2款の1項で、一般被保険者療養諸費というのがございまして、そこで財源内訳なんですけども、その他が減額されて、その分、恐らく一般財源のほうへ回ってるんじゃないかと思いますが、その後、次の2項の退職被保険者のところでも、そういうふうなことになっていきますし、高額療養費でもそういうふうな形になってますね。財源内訳が変わっている。

それは、どういうことでそうなるのかお聞きしたいと思います。

それから、高額療養費については、田代議員のほうで、質疑、答弁ございましたので、1枚めくっていただいて、145ページの一番下の8款、保健事業費の中の2項、保健事業費に、委託料がありますよね、疾病予防の、この人間ドックの委託料が155万円の減額ということになっています。先ほど、課長の答弁でも、いろいろと難しい病気、また大変治りにくいというんですか、そういうような病気等があるということなんですけども、人間ドックがもう減ってきてるということについて、精密な検査が減ってきてる。そこのところとの関連があるんじゃないかというふうに思うんですけども、その辺を説明願いたいと思います。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 住民課長、牛居君。

(住民課長 牛居秀行君 登壇)

○住民課長 (牛居秀行君) 美濃議員の御質疑にお答えを申し上げます。

143ページの保険給付費の一般被保険者の療養諸費のところ、財源内訳が変更になっているということがございます。この、その他と申し上げますのは、国保会計におきましては、国保連合会と支払基金、この二つを指すものでございます。それで、いろいろと負担割合に応じまして、そういった財源が入ってくるわけでありまして、それが例えば、その他の分野が減ると国等の財源がふえる、国等の財源がある程度推測よりも上回った場合には、その他のものが減るといった、そういうふうな構造でございまして、細かい数字の上下というのは、私も理解・把握しておりませんが、システムとしては、そういうふうな形で財源内訳が変更になるということがございます。

それから次に、145ページでございます。8款、保健事業費、2項、保健事業費の中の疾病予防費で、今回155万円の減額補正をお願いをしております。この減額要因といたしましては、1日の人間ドックでありますけれども、男性63名を見込んでおりましたけれども、現実には58名ということで、5人減となっております。それから、女性でございますが、当初67人という見込みでございましたけれども、現実には55人しか受けていただけなくて、12人の減ということでございます。

それから、脳ドックでございますけれども、これにつきましては、男女合わせてでありますけれども、当初で120名見込んでおったわけでありまして、現実には87名ということで33人の減となったこととございます。これによつての減額が155万円と

いうことでございます。実績に応じて減額をさせていただいたと、応募がなかったということでございます。

それと、もう1点、この人間ドックが減ったことによって疾病といいましょうか、医療費がふえているのではないかとということでございますけども、正直申し上げまして、その因果関係につきましては、ちょっと私どもも把握してございません。ただ、今回の減額補正につきましては、応募をしてくださった方々の実績に応じて減額補正をさせていただいたということと御理解を賜りたいと存じます。

(住民課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 13番、美濃良和君。

○13番 (美濃良和君) 財源内訳について、国保連合会等から入ってこない部分を国とか、そういうところから来たんで、この財源内訳の変更があったということなんですけれども、それは、例えばどんなケースがあるんですか。ちょっと、一例でもあれば、説明願いたいと思います。

それから、人間ドックの募集に対して、応じてくれなかったために減ったんだということであったんですけども、今の答弁でもありましたけど、結局、それについても、確固としたそういう理由についてはわからんわけなんですね。募集をかけていくやり方とか、そんなところでも、問題はなかったと、そういうことでよろしいですか。

○議長 (小椋孝一君) 住民課長、牛居君。

○住民課長 (牛居秀行君) 美濃議員の再質疑にお答えを申し上げます。

財源内訳のお話でございますけれども、例えば、これも予算上の話なんですけど、例えば、平成25年、国から入ってくるお金が、まあこれぐらいだということで推計をいたすわけでございます。推計をいたすわけでございますけど、これはあくまでも推計でございますので、まず、変更申請をして、国から入ってくるお金が思ったよりも多くなるといった場合については、どこかが減ってこないと得になるということになりますので、そういったことがございます。そういったところでも御理解を賜りたいと存じます。

それから次に、人間ドックでございます。これにつきましては、当初、我々予定といえましょうか、これだけの人間をやろうということで、力を入れていかなければならないということで、県下でも保健事業費については、突出した、1位、2位というふうなところを誇ってございます。この人間ドックでございますけれども、平成23年の実績が、委託料が784万3,634円でございます。平成24年度でございますが、8

83万8,753円ということで、約100万円ほど上がってございます。それで、今回、予算上では155万円、減額ということになってございますけれども、その減額後の金額を見ていただきますと、974万円ということになってございまして、平成23年、24年、25年を見ても、右肩上がりに人間ドックの費用がふえているということでございますので、決して23年度より、去年より減退したというふうなことではございません。予算上は、一応、この155万円を減額してございますけれども、実績といたしましては、年間100万円ずつ、平成24年度からしますと110万円ほどになるんですか、実績としては上がっているということでございますので、決してこれを緩めておるわけではございません。予算上は、こうなっておりますけれども、現実的には右肩上がり人間ドックが進められているということで御理解を賜りたいと存じます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第59号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第59号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第59号は原案のとおり可決されました。

これから議案第60号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第60号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第60号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 議案第61号 平成25年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第7、議案第61号、平成25年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について、議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第61号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第61号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第61号は原案のとおり可決されました。

◎日程第8 議案第62号 平成25年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第8、議案第62号、平成25年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について、議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

(13番 美濃良和君 登壇)

○13番（美濃良和君） ちょっと事前に聞いておけばよかったんですが、説明でもあったかわかりませんが、170ページ、歳出のところ、電気料金の90万円増ですね、いろいろとあると思いますが、電気料金の引き上げとか、いろいろあるわけですね。そういうふうなところが影響してきているのか、そのところでお聞かせいただきたいと思います。

（13番 美濃良和君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 水道課長、温井君。

（水道課長 温井秀行君） 登壇）

○水道課長（温井秀行君） 美濃議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

170ページの電気料についてでございますが、平成25年5月1日から平均9.75%アップということで、電気会社のほうから通知が来てございます。つまり、25年度、11カ月分のアップということで、90万円の計上をさせていただきました。

以上、答弁とさせていただきます。

（水道課長 温井秀行君） 降壇）

○議長（小椋孝一君） 13番、美濃良和君。

○13番（美濃良和君） 他の水道会計が上がってなかったの、予算の上ですね、この電気料金の、今後どのような推移になるかという、そういうことは予測のところで、他の美里とか、上水道ですね、等々のことから比較して、この分はそういうふうには計算されてなかったのかどうかですね。特に、引き上げは、私も海南海草のし尿の関係で監査させもらってるんですけども、何せひどいですよね、関西電力は今、代替エネルギーというんですか、ソーラーとか、その辺のところの個人に払う分まで電気料金でふえてきてると、ほとんど損なしに来てるんで、上がるということだと思いますが、9.75%というのは、そういうようなことも入ってるわけだと思いますが、何にしても、さきに言いましたように、ほかの三つの水道会計では補正がなかったのに、ここだけあったことについて、もう一度お願いします。

○議長（小椋孝一君） 水道課長、温井君。

○水道課長（温井秀行君） 美濃議員の再質疑にお答えをさせていただきます。

野上簡水以外の上水道、美里簡水の電気料金の件でございますが、当初見込んでおいた予算で何とか間に合うという状況でございます。特に、野上簡易水道は、三つの、上水道、美里簡易水道、この三つに比べまして、一番電気料金が必要となります。つまり、

ポンプ、モーター等の施設機器が多いわけでございます。美里簡水は自然流下で流しておりますので、割とモーター、ポンプは設置してございませんので、電気料金はそんなに必要となりません。上水道も同じくでございます。上水道、美里簡易水道とも、当初予算をお願いいたしました内容で何とかやりくりをさせていただける状況でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。
これから議案第62号に対し討論を行います。
反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。
これから議案第62号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第62号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第50号 紀美野町過疎地域自立促進計画の変更について

○議長（小椋孝一君） 日程第9、議案第50号、紀美野町過疎地域自立促進計画の変更について、議題とします。

これから質疑を行います。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。
これから議案第50号に対し討論を行います。

反対討論を行います。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第50号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　異議なしと認めます。

したがって、議案第50号は原案のとおり可決されました。

◎日程第10　議案第51号　辺地総合整備計画の変更について

○議長（小椋孝一君）　　日程第10、議案第51号、辺地総合整備計画の変更について、議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで質疑を終わります。

これから議案第51号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第51号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　異議なしと認めます。

したがって、議案第51号は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

散　会

○議長（小椋孝一君）　　本日はこれで散会します。

（午前11時18分）